

| | 課題分析 | 授業改善策 |
|---------|---|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に対する関心・意欲を高める必要がある。 ・表現活動(スピーチ、課題作文等)の時間が十分でない。 ・語彙が少なく、漢字や文法事項などの定着が十分でない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標と学習内容とのつながりが理解できるようにし、単元の終わりの評価を学習意欲につなげる。 ・話し合いや発表を通して、多様な意見に触れたり、評価したりすることで、考えを深められるようにする。 ・一斉学習と個別学習を連携させながら、知識を定着させられるように課題の提示の仕方を工夫する。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学び合い、伝え合いをする場面が限られていること。 ・1時間の中で生徒が「できた」と思える活動を設定できていないこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめに社会的課題への解決策を考える話し合いや発表の機会を設ける。 ・授業の目標やテーマを明確にすることで、それを理解できた場面で達成感をもたせたい。 |
| 数学 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業時間中における学習への取り組みは意欲的であるが、自主的・継続的な学習および過程学習について課題がある。 ・反復学習が不足しているため、基礎・基本の定着、計算力の向上に課題がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の定着を図る課題を提示しつつも、生徒の負担にならず、自主性を損なうことのないような提出のさせ方を工夫する。 ・授業時間で、生徒の関心を引き出し、与えられた課題以外にも取り組めるような声かけをする。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に友達と意見を出し合いながら取り組む場面が少ない。 ・授業中に生徒が「できた」と実感できる場面が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの場面を増やしていく。 ・宿題で、実力が付いたことが実感できるような小ドリルを配布し、翌授業で確認を行う。 |
| 音楽 | <p>1年生で学ぶアルトリコーダーに苦手意識を持っている生徒が多い。</p> | <p>2学期は合唱コンクールまでは合唱中心、その後、リコーダーに戻っていく。ソプラノリコーダーとアルトリコーダーでは指使いが違うので、多めに時間を使いながら、生徒の知っている曲を取り入れて楽しく上手に吹けるようにさせていく。</p> |
| 美術 | <ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がるにつれて、課題の内容も高度なものになるため、時間が足りないと感じている生徒の割合が多い。 ・授業の中で、他者と意見交換する時間が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・作業工程を単純化し、アイデアを練る時間および作業時間を確保していく。 ・授業の始めに、鑑賞の時間を設けるなど、他者の考えにも触れる時間を設定する。 |
| 保健体育 | <p>種目が陸上競技中心となり、仲間と話し合う活動を設定する機会が少なかった。また、種目の特性上、授業内容を習得できた達成感を感じられる場面が少なかった。</p> | <p>グループで活動する種目を通して、仲間と協議し、協働する機会を設定する。その中で、他者の活動を見ること、相手に伝えることを通して自己の動きや考えに生かすことができるよう取り組ませる。</p> |
| 技術・家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活体験が少ないため、視覚的教材が少ないと理解しにくいことが多い。 ・ものづくりでは、自らの課題を把握し、様々な方法を探り改善していく力を伸ばしていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的な教材を活用するとともに、実習教材を精選し1つの題材の中で自ら課題を見だし、工夫して完成させたことを実感できるようにする。 ・授業の中で、基礎的な技能の確実な定着を図るとともに、他者との意見交換をする時間を設定する。 |
| 外国語(英語) | <ul style="list-style-type: none"> ・授業中には理解しているが、それから先の英語の活用をどのようにしていいか困っている現状がある。 ・英語の発音や単語が分からないまたはすぐ忘れてしまうので、近くの生徒に聞いてなんとか対処している現状がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業での基礎を、英語の活用につなげていくために、自由度のある応用的な内容を取り入れていく。 ・授業で学ぶことが積み重なるように、効果的な家庭での学習課題を指示していく。 |